

2008年1月1日～2023年12月31日の間に 当科において脊椎・脊髄損傷の治療を受けられた方へ

—「脊椎脊髄損傷の疫学調査と予後規定因子の検討」へのご協力をお願い—

研究責任者 川崎医科大学脊椎災害整形外科 准教授 中西 一夫
研究分担者 川崎医科大学生理学2 大学院生 林 範人
川崎医科大学脊椎災害整形外科 教授 長谷川 徹
川崎医科大学救急医学 特任教授 椎野 泰和

1. 研究の概要

脊椎脊髄損傷患者の患者背景、受傷機転、損傷形態、治療方法を含めた疫学調査を行い、予後との関連を検討する。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2008年1月1日～2023年12月31日の間に川崎医科大学附属病院整形外科において脊椎・脊髄損傷の治療を受けられた方300名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024年12月31日

3) 研究方法

2008年1月1日～2023年12月31日の間に当院において脊椎・脊髄損傷の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにカルテのデータを選び、脊椎・脊髄損傷の疫学と予後規定因子に関する分析を行い、治療予後との関係について調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、損傷形態、治療方法、治療予後など

5) 試料・情報の保存及び二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学脊椎災害整形外科教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の

資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。なお、発表後の申し出に関しましては申し出に応じることが出来ない場合がございます。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 整形外科

氏名：林 範人

電話：086-462-1111 内線 25507（平日：9時00分～17時00分）

3. 資金と利益相反

この研究は、研究費を用いない予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。